

ニライの都市をめぐす



北谷町

# 議会だより

No. 89 2017年  
9月定例会

北谷小学校運動会

# ちぎいよへつ! エイサーくんか!!

平成28年度どう使われたか私たちの税金	P2~3
決算審査(一般会計)質疑応答(要旨)	P4
平成28年度はこんな事をやりました!	P5
条例・契約・その他議案	P8
決議・意見書・陳情	P9
議決結果賛否一覧表	P10~11
一般質問13人が登壇	P12~24
特集	P25



# どう使われたか私たちの税金

# 税金

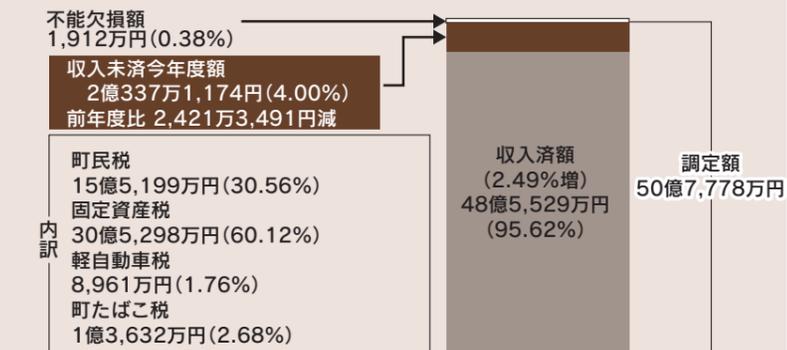
平成28年度  
決算認定

**歳出総額178億8,235万1,702円**  
(前年度比30億7,334万円 20.8%増)

**歳入総額185億7,531万8,254円**  
(前年度比28億6,860万8,017円 18.26%増)

## 町税の決算状況

今年度決算額48億5,529万円  
前年度比1億1,803万8,000円増



調定額…年度内に町に入るべきお金  
収入済額…年度内に納められたお金  
収入未済額…年度内に納められなかったお金  
不能欠損額…調定した歳入が督促等を行ったが時効が到来し、徴収できないと認定されたもの

### 用語の解説

**民生費** 老人福祉や児童福祉、障がい者福祉等の運営などにお金

**その他** 労働費、消防費、諸支出金など

**総務費** 交通安全対策、振興計画策定、庁舎の管理などにお金

**教育費** 小中学校や幼稚園の教育環境の整備、生涯学習文化財保護などにお金

**土木費** 町道の舗装補修、道路の新設改良、河川の整備、町営住宅建設などに使われるお金

**公債費** 町が学校を建てたり、道路を造ったりするときに借りたお金を返すためのもの

**衛生費** 各種健診や予防接種、ゴミやし尿の処理、ゴミ減量化推進などにお金

**農林水産業費** 農林水産業の振興、漁港施設の整備などにお金

**商工費** 町内商工業の振興や金融対策、観光振興などにお金

**衛生費** 8億5,909万1,649円 (4.80%)

**農林水産業費** 5億1,240万1,264円 (2.87%)

**商工費** 1億8,132万8,737円 (1.01%)

**議会費** 1億5,560万3,705円 (0.87%)

**民生費**  
45億9,238万4,908円  
(25.68%)

**その他**  
37億3,453万6,677円  
(20.88%)

**総務費**  
19億3,898万7,323円  
(10.84%)

**教育費**  
32億6,072万331円  
(18.23%)

**土木費**  
18億4,120万228円  
(10.30%)

**公債費**  
8億609万6,889円  
(4.51%)

**国庫支出金**  
33億5,833万4,994円  
(18.08%)

**県支出金**  
16億4,572万2,724円  
(8.86%)

## 自主財源 (59.0%)

**町税**  
48億5,528万8,796円  
(26.14%)

**繰入金**  
21億1,484万9,769円  
(11.39%)

**繰越金**  
8億9,769万9,020円  
(4.83%)

**財源収入**  
17億6,700万8,700円  
(9.51%)

**町債**  
7億4,160万円  
(3.99%)

**各種交付金**  
12億5,225万6,000円  
(6.74%)

**地方交付税**  
13億6,036万円  
(7.32%)

**国庫支出金**  
33億5,833万4,994円  
(18.08%)

**県支出金**  
16億4,572万2,724円  
(8.86%)

## 依存財源 (41.0%)

### 用語の解説

**町税** 町民が納める税金

**繰入金** 基金の取り崩しなどにより繰り入れたお金

**繰越金** 決算上剰余金が生じた場合、翌年度の財源として繰越する

**財産収入** 公有財産のうち行政財産を除いた財産の貸付や運用等による収入

**その他財産** 分担金、負担金、使用料、手数料、寄付金、諸収入

**地方譲与税** 自動車重量税の一部など、もともと地方税として納めるべきものを国税として徴収し町に譲与されたお金

**町債** 大きな事業を行うために、国や県及び金融機関から借り入れたお金

**各種交付金** 地方消費税交付金等、諸々の交付金

**地方交付税** 所得税など国が徴収した税金の中から、町の財政状況に応じて交付されるお金

**国庫支出金** 地方公共団体が提供する特定の行政サービスに対し国から交付金などの名称で交付される財源

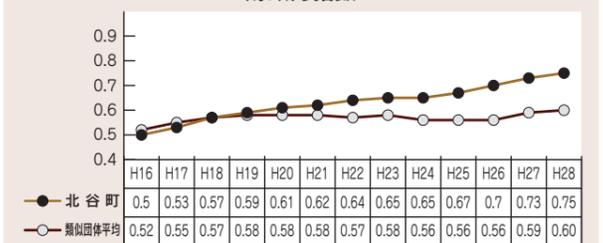
**県支出金** 町が行う事業に対して県が交付する財源

**その他財源** 5億2,251万5,251円 (2.81%)

**地方譲与税** 5,968万3,000円 (0.32%)

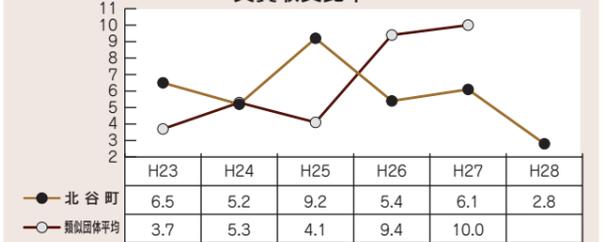
類似団体は、読谷村、西原町、南風原町

### 財政力指数



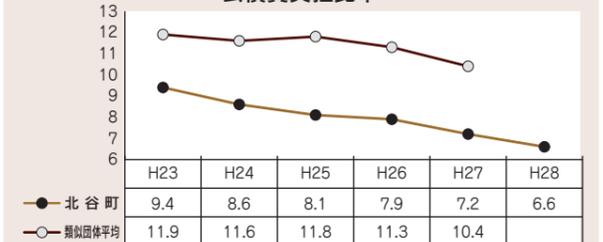
数値が大きいほど財政に余裕がある。「1.0」を超えた場合は、裕福な団体(支出より収入が多い)。H22より県内で3位を堅持。今後も米軍用地返還跡地開発による固定資産税等の増収が期待できる。

### 実質収支比率



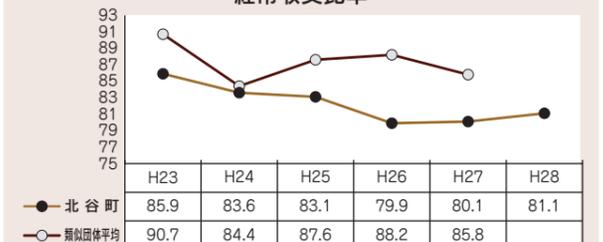
自治体裁量で使える財源のうち、少し余る位で使っていれば「健全」とされ、3~5%が望ましい。5%を超えている場合は剰余金が多額に発生し、財政運営が十分でないといえる。

### 公債費負担比率



借金などの返済に税金などの一般財源がどの程度使われているかを示す指標。10%を超えないのが望ましい。本町は、過去に発行した地方債の償還完了により、改善傾向が続く。

### 経常収支比率



財政の弾力性を示す指標。70%~80%が望ましいとされている。突発的な出費が必要となった際の弾力的な対応ができるかを示している。人件費、物件費の削減等により改善に努めている。

# 平成28年度はこんな事をやりました!

これらの事業は国・県の補助金も活用しています

## 特定駐留軍用地内取得事業

返還前に公有地を拡大し、計画的な跡地利用を図る



6億3,487万3千円

## 北谷第二小学校改築事業

老朽化に伴い改築を行い、耐震化及び教育環境の改善を行う（校舎改築工事竣工により当該事業は完了）



16億5,774万3千円

## 宇久殿中央線改良事業

車両の円滑な交通及び歩行者の安全を確保する



1,407万円

## 北谷町観光物産プロモーション事業

本町への観光客誘客推進と地域特産品の交流を図る（台湾「E-JAPAN物産展」）



1,328万8千円

## コミュニティバス導入検討事業

バスの利用促進を図るため、車両へのラッピングのデザイン作成や広報媒体の作成を行った



359万9千円

## 特定不妊治療費助成事業

子どもを望む夫婦の負担軽減を図り、治療に要した費用の一部を負担する



194万2千円

# 決算審査(一般会計)質疑応答(要旨)



うみんちゅワーフの収支バランスは

**問** うみんちゅワーフの平成28年度の決算における収支バランスは

**答** 指定管理費、その他の委託費が合計で2千492万円。28年度は年間3千742万円。合計で6千234万円の支出が出ている。うみんちゅワーフの使用料は397万円となっている。

**問** 地方消費税交付金の基準の算出について伺う

**答** 国勢調査に基づいた人口、統計調査、事業所の数、従業員の数を按分して市町村に配分される。



サンセットビーチ改良イメージ図

**問** 現在の町営住宅駐車場の使用料はいくらか。また、滞納者への対応は

**答** 月額で1台あたり1千500円。滞納分の対応は、個別に面談し、今後の返済計画を相談しながら滞納を減らすようにしている。

**問** サンセットビーチ改良事業について、今後のコンセンサスをどのように図っていくか

**答** これまでのラグーン案から展開案に決定していった経緯や、理由を説明し、一定の理解は得られていると認識している。

**問** 放課後児童クラブ設置は、現在、宮城児童館だけ。今後も放課後児童育成事業をやる予定があるか

**答** 今年度、再度在学生に対してアンケートを予定しており、その結果を見て児童館等に設置するのか、学校内施設の建設等を進めて行くのか、その判断材料としていきたい。



放課後児童クラブ設置の宮城児童館

## 監査委員審査意見報告

地方自治法第23条第3項に基づき北谷町長から決算認定のために提出された報告書です

### 審査の着眼点

- 決算計数は正確であるか。
- 予算執行はその目的に沿って適正にされており、各種の事務事業は、初期の成果を収めていると認める。しかし、財政運営上いくつかの課題もあり今後検証を頂きたい。
- 財政に関する事務執行は関係法令に適合しているか。
- 財産管理は適正に行われているか。

### 審査結果・意見

着眼点に基づき、決算審査を行った。

予算執行は、その目的に沿って適正にされており、各種の事務事業は、初期の成果を収めていると認める。しかし、財政運営上いくつかの課題もあり今後検証を頂きたい。

◇ 経常収支比率は、81.1%で、対前年度比1.0ポイントの増で依然として高く、今後も引き続き圧縮するようなお一層努力されたい。

◇ 公債費負担比率は、財政運営上通常は15%が警戒ライン。本町は、6.6%で、対前年度比0.6ポイントの減。今後も引き続き健全な財政運営を望む。

◇ 財政確保について、地方交付税は対前年度比5.5%の減となっており、今後も災害等からの復旧・復興への対策により、地方交付税等の依存財源の減額が予想される。

また、歳出面では、福祉・子育て支援・保健などの経費である扶助費、施設の老朽化に伴う維持補修費及び防災拠点整備事業・駐留軍用地の返還跡地利用推進事業などの経費の増加が予想される。町の根幹財源である町税の収入未済額を圧縮し、滞納の抑制・解消を図るとともに、節減・合理化に努め、経費抑制を図り財源確保に努めることが重要な課題。

# 平成29年度 補正予算

## 一般会計



補正額	8億1,800万円
予算総額	154億1,100万円

歳入予算: 地方交付税の補正、国・県支出金等の補正、繰入金の補正。  
 歳出予算: 人件費、特別会計における給与改定への対応のための繰り出し金の増額補正。

## 国民健康保険特別会計



補正額	5億6,632万3千円
予算総額	52億7,580万5千円

歳入予算: 一般会計繰入金、今年度の収入見込から増額補正。  
 歳出予算: 今年度の支出見込により増額補正。

## 後期高齢者医療特別会計



補正額	268万5千円
予算総額	3億3,594万5千円

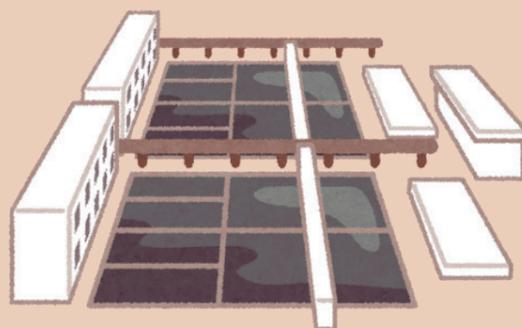


## 下水道事業特別会計



「平成29年4月1日付けで地方公営企業法の全部を適用するため同年3月31日に出納閉鎖したことに伴い、平成28年度以前の会計年度において発生した債権又は債務に関わる未収金又は未払金が確定。」

「第4条の2特例的収入及び支出に定めた未収金の当初予定額9千505万2千円を9千764万7千円に、未払金の当初予定額5千677万8千円を5千758万4千円にそれぞれ増額。」



# 平成28年度 特別会計・水道事業会計決算

## 北谷町国民健康保険特別会計



歳入総額	51億6,812万3,195円
歳出総額	48億528万4,901円
差引残高	3億6,283万8,294円

平成27年度の決算額と比較すると、  
 歳入 6.6%増 歳出 1.9%増

## 北谷町後期高齢者医療特別会計



歳入総額	3億3,558万9,795円
歳出総額	3億3,291万1,181円
差引残高	267万8,614円

平成27年度の決算額と比較すると、  
 歳入 5.5%増 歳出 10.8%減

## 北谷町公共下水道事業特別会計



歳入総額	10億3,056万5,968円
歳出総額	8億1,365万1,993円
差引残高	2億1,691万3,975円

平成27年度の決算額と比較すると、歳入 14.9%増 歳出 3.9%減



## 北谷町水道事業会計 (消費税込み)



収益的収入	9億4,806万7,470円
収益的支出	7億8,029万94円
資本的収入	2,078万9,560円
資本的支出	1億2,381万3,311円

- ・平成28年度給水人口 29,098人
- ・年間総給水量 4,089,442m<sup>3</sup>
- ・有収率 96.6%



※資本的収入額が資本的支出額に不足する額1億302万3,751円は、減債積立金4,890万6,032円、過年度損益勘定留保資金 5,411万7,719円で補てんした。

## 平成28年度北谷町水道事業剰余金の処分について



- ・当年度未処分利益剰余金 2億1,124万8,113円

※上記金額を建設改良積立金に1億565万8,302円、資本金に1億558万9,811円を組み入れ処分した。

# 条例・契約・その他議案

## 北谷町固定資産税の課税免除等に関する条例の一部を改正する条例について

沖縄振興特別措置法第9条等の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の一部改正がなされたことに伴い、北谷町固定資産税の課税免除等に関する条例の一部を改正する必要がある為に改正。

## 北谷町印鑑条例の一部を改正する条例について

今年度導入を予定しているコンビニエンスストアでの証明書交付事業を実施するにあたり、コンビニエンスストアに設置されている多機能端末機より、印鑑証明書の交付を行うとともに、又併せて条例全体の文句を適切な表現に改めるため、北谷町印鑑条例の一部を改正する必要がある為に改正。



証明書がコンビニで交付される

## 北谷町手数料条例の一部を改正する条例について

今年度導入を予定している証明書コンビニ交付事業を実施に伴い、北谷町手数料条例の一部を改正する必要がある為に改正。

## 北谷公園野球場ブルペン新設工事請負契約について

北谷公園野球場ブルペン新設工事請負契約の締結については、北谷町議会の決議に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を必要とする。

## 北谷第二幼稚園園舎改築工事（建設）請負工事について

北谷第二幼稚園園舎改築工事（建設）請負契約の締結については、北谷町議会の決議に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を必要とする。

## 桑江総合運動場改修工事請負契約について

桑江総合運動場改修工事請負契約の締結については、北谷町議会の決議に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を必要とする。

## 伊平桑江線県道取付工事請負契約の変更について

伊平桑江線県道取付工事請負契約の変更については北谷町議会の決議に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を必要とする。

## 北谷町道路線の認定について

（伊平17号線13路線）（謝荊栄口線外1路線）（宮城57号線外1路線）北谷町道路線の認定するには道路法第8条第2項の規定により、議会の議決を必要とする。

# 決議・意見書・陳情

原案可決

F-35B戦闘機を含む軍用外来機飛来・暫定配備等に抗議し、即時撤去を求め、抗議決議・意見書

原案可決

垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの即時飛行停止と撤去を求め、抗議決議・意見書

原案可決

嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練の禁止を求め、抗議決議・意見書

あて先 抗議決議が米国及び米軍関係機関。意見書が衆参両院議長はじめ日本府関係機関

原案可決

北谷町立学校新給食センターの施設整備において炊飯設備の継続導入を求める決議

あて先 北谷町長、北谷町教育長質問・討論等、詳しくはP.25の特集をご覧ください

原案可決

県産品及び地元産品の優先使用に関する決議

採択

県産品の優先使用に関する要請

採択

地元産品奨励及び地元企業優先使用について（要請）

北谷町で使用する物品等については、地元産品を優先して頂き、公共工事には地元産品を優先すると同時に、町民にも地元産品優先使用の意識の高揚を図っていただきますようお願い申し上げます

原案可決

子どもの医療費助成制度改善を求める意見書

あて先 衆参両院議長はじめ日本府関係大臣ならびに沖縄県知事

原案可決

国保財政の県移管における国保制度改善を求める意見書・決議

あて先 意見書が衆参両院議長はじめ日本府関係大臣ならびに沖縄県知事、決議が北谷町長

採択

北谷町立幼稚園のクラス定数引き下げと教職員の処遇改善を求める陳情

採択

「ニッポン一億総活躍プラン」を地域社会で実践するシルバークリニカの決意と支援の要望

採択

子どもの医療費助成制度に係る意見書採択についての陳情

採択

国保単位化における国書採択についての陳情



第463回～第466回

臨時・定例議会 議決結果賛否一覧表

議案	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		氏名	宮里 廣	高安 克成	友利 勉	喜友名 朝哲	喜友名 盛充	渡久地 政志	照屋 正治	亀谷 長久	大浜 ヤス子	仲栄 眞恵美子	玉那 覇 淑子	宮里 歩	與儀 誠	仲地 泰夫	阿波 根 弘	目取 眞 肇	金城 紀昭	中村 重一	田場 健儀
<b>第463回 臨時議会</b>																					
F-35B戦闘機を含む軍用外来機飛来・暫定配備等に抗議し、即時撤去を求める抗議決議	可決		○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	欠	欠	欠	○	○	
F-35B戦闘機を含む軍用外来機飛来・暫定配備等に抗議し、即時撤去を求める意見書	可決		○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	欠	欠	欠	○	○	
<b>第464回 臨時議会</b>																					
北谷公園野球場ブルベン新設工事請負契約について	可決		○	○	○	○	○	欠	○	公	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
北谷第二幼稚園園舎改築工事(建築)請負契約について	可決		○	○	○	○	○	欠	○	公	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
桑江総合運動場改修工事請負契約について	可決		○	○	○	○	○	欠	○	公	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
<b>第465回 臨時議会</b>																					
垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの即時飛行停止と撤去を求める抗議決議	可決		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	○	
垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの即時飛行停止と撤去を求める意見書	可決		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	○	
<b>第466回 定例議会</b>																					
北谷町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
北谷町印鑑条例の一部を改正する条例について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×
北谷町手数料条例の一部を改正する条例について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
北谷町道路線の認定について(伊平17号線外13路線)	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
北谷町道路線の認定について(謝効栄口線)	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
北谷町道路線の認定について(宮城57号線外1路線)	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度北谷町一般会計補正予算(第2号)について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度北谷町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度北谷町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成29年度北谷町下水道事業会計補正予算(第1号)について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練の禁止を求める抗議決議	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議案	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		氏名	宮里 廣	高安 克成	友利 勉	喜友名 朝哲	喜友名 盛充	渡久地 政志	照屋 正治	亀谷 長久	大浜 ヤス子	仲栄 眞恵美子	玉那 覇 淑子	宮里 歩	與儀 誠	仲地 泰夫	阿波 根 弘	目取 眞 肇	金城 紀昭	中村 重一	田場 健儀
嘉手納飛行場におけるパラシュート降下訓練の禁止を求める意見書	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度伊平桑江線県道取付工事請負契約の変更について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度北谷町一般会計歳入歳出決算認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度北谷町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度北谷町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度北谷町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度北谷町水道事業会計決算認定について	認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度北谷町水道事業剰余金処分について	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
地元産品の奨励及び地元企業優先使用について(要請)	採択		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
県産品の優先使用について(要請)	採択		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
県産品及び地元産品の優先使用に関する決議	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
「ニッポン一億総活躍プラン」を地域社会で実践するシルバー人材センターの決意と支援の要望	採択		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
北谷町立幼稚園のクラス定数引き下げと教職員の処遇改善を求める陳情	採択		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
子どもの医療費助成制度に係る意見書採択についての陳情書	採択		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
子どもの医療費助成制度改善を求める意見書	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
子どもの医療費助成制度改善を求める意見書	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
国保県単位化における国保制度改善を求める意見書採択についての陳情書	採択		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
国保財政の県移管における国保制度改善を求める意見書	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
国保財政の県移管における国保制度改善を求める意見書	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
国保財政の県移管における国保制度改善を求める決議	可決		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
北谷町立学校新給食センターの施設整備において炊飯設備の継続導入を求める決議(P25参照)	可決		○	○	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	

※議案賛成者は(○)とし、反対者は(×)とします。退席者は(退)、公務の欠席者は(公)、法定伝染病の欠席者は(病)、所用の欠席者は(欠)としています。議長は、採決に加わらないため斜線としています。法律により、採決に加わらない議案については(除)としています。

# ずばり、町政を問う!!



さんじょう 金城 紀昭 議員

## Q 防犯カメラを桑江、浜川と安良波線にも設置すべきだと思ふが必要性は

A 交通量が多い地域。設置は今後検討するべきものだと思っている

**問** 町長の判断で町道への追加設置は可能か

**答** 改めて設計委託をすることになり、更に時間を要する為、追加して設置することは現段階では厳しいと考えている。

**問** 宮城2号線の方に、なぜ17台も設置する必要があるのか伺う

**答** 車上荒らし等による被害が発生していることから、宮城2号線への防犯カメラ設置を申請し、犯罪の抑止に効果が見込まれる場所へ設置を考えている。

**問** 防犯カメラの必要性と設置についてどう考えるか

**答** 沖縄県における犯罪を抑制するとともに、沖縄県民の安全・安心を確保することを目的に補助金が交付。本町においても、公共施設の利用者が安全・安心に利用できるように適正な管理を行なうことを目的に事業の申請を行なっている。

## 防犯カメラの設置を問う



防犯カメラ設置予定の宮城2号線

## 博物館の建設問題を問う

**問** 基本計画書と現在の進捗状況、開館期日等、今後の日程について伺う

**答** 現在、実施設計を発注。平成30年度から31年度にかけて建設工事、外構工事等を予定。平成31年度中の開館を目指す。

**問** 管理運営計画、人員体制、運営方式、総事業費、年間運営費、初年度来館予定者数は

**答** 管理運営計画は、町立博物館の持続的・安定的な事業運営を目指すこと、また地域資源の活用により本町の活性化にも資すること、地域の人材育成をめざし、博物館機能のうち、特に文化観光・交流機能を拡充させる方向で検討を進めている。運営方式は、一部指定管理者制度を導入することを検討。

**問** フェーヌシマ、三ヶ村大綱引きを町無形民俗文化財への指定を提案するが、所見を伺う

**答** 今後団体等と連携して、保存継承者の育成、無形文化財の普及、振興を図り、町指定文化財に向けて努めていきたい。



伊礼原遺跡に隣接の博物館建設予定地

他に次の質問がありました  
・本町の産業、観光の振興について



かめや 亀谷 長久 議員

## Q 行政懇談会における主な「町民の声」は

A 11行政区において延べ306人の参加、170件の質問や要望等があった

## 行政懇談会について



行政懇談会の様子

**問** 行政懇談会における主な「町民の声」はどのようなことがあったか

**答** 総務部は、コミュニティバスの運用、防災無線・防犯カメラの設置、交通安全対策（信号機設置等）、北玉小学校スクールゾーンの交通規制、自治会加入など。住民福祉部では、犬・猫の対策、ゴミ問題（不法投棄等）など。建設経済部は、道路整備（カーブミ

**問** 北谷中学校グラウンド周辺住民の砂塵被害の実態について、どのような認識をもっているか伺う

**答** 乾燥と強風などによりグラウンド周辺の土が飛散し、グラウンド周辺住民の皆様方には

## 教育行政を問う

**問** このような町民の声に対してどのように応えていくか

**答** 行政懇談会においては、11行政区自治会から多くの質問や要望等があった。その一つひとつの質問や要望等に対し町がどのように対応するかをお答えし、その後のように処理したか、その記録を各自治会に提供。町民に対しては広報ちゃん及び町ホームページ等で公表する。

**問** どのような砂塵対策を実施しているか

**答** スプリンクラーを3基設置し、日中に複数回の散水、年に1回、土壌団粒形成工法により団粒化剤を散布し、砂塵対策を行なっている。現在、



一部芝生化された浜川小学校のグラウンド

**問** 旗頭等が演舞可能な芝生等の空間の整備を提案したいが、所見を伺う

**答** 縄文時代だけでなく、琉球王国文化における民俗芸能などを演じられるスペースを確保し、各種イベントに対応できるように空間設計を検討している。

**問** 今後どのような対策をとっていくか

**答** 今まで以上にまめな散水を心がけるよう学校への働きかけや、必要に応じた団粒化剤の散布を行うとともに、効果的な対策を調査研究しながら、砂塵防止に努めていく。

運動場の一部芝生化の可能性を検証するため、芝生化の効果、管理状況について試験施工も実施している。



おおはま やすこ 大浜 ヤス子 議員

## 行政懇談会で町民の要望にどの程度応えられたか

**A** H27年度は178件に対し167件を対応、処理の完結は167件(94%)

### 行政懇談会について

**問** 町民からの要望等にどの程度応えられたか伺う

**答** 行政懇談会の質問や要望等は、11行政区総数で、毎回約200件、平成27年度行政懇談会の対応・処理状況で申し上げますと、質問や要望等178件に対し対応・処理の完結は167件、割合で94%完結している。



多くの意見・要望が出る行政懇談会

一般質問



みやざと ひろし 宮里 廣 議員

## 観光協会周辺に公衆トイレを設置できないか

**A** 当該エリアの公衆トイレ等の案内板を設置し利用できるトイレの周知を検討する

### 観光振興を問う

**問** 観光協会周辺に公衆トイレを設置できないか

**答** 当該エリアには、観光情報センター内の公衆トイレ及び多目的トイレがあり、団体観光客の利用が多いため、9時15分ごろから開所し、トイレを利用させている。今後は、当該エリアの公衆トイレ、美浜アメリカンビレッジ内の各店舗を含め、案内看板等を設置し利用できるトイレの周知について検討する。



公衆トイレ設置が待たれる観光情報センター周辺

一般質問

**問** サンセットビーチ入口の足湯の拡張工事を伺う

**答** 利用状況の実態を把握し、必要な規模や改修費用、また費用対効果などを確認して検討する。

### 姉妹都市提携は

**問** 本町の活性化につながる姉妹都市提携を伺う

**答** 行政における国際交流、観光、教育分野等で各種個別の交流等を行なっており、今後、検討したい。

### 道の駅整備を問う

**問** 道の駅整備を伺う

**答** 道の駅に類似する機能を持ち合わせた、海業振興センター「うみんちゅワーフ」が「ちやたん海の駅」として、海の駅ネットワークとして、海より平成27年度に認定を受けており、今後も当該施設の活性化を引き続き推進したい。

### 安心安全なまちづくりは

**問** 大雨等による土砂災害対策、実態調査を伺う

**答** 大雨注意報の発令時、台風襲来前に巡回して注意を促し、適宜判断して避難指示、避難勧告を行なっている。また、土砂災害防止法等、関係法令に基づき、県と連携する点に基き、実態調査も視野に入れ検討する。

**問** ホースガラの改修を伺う

**答** 藻の発生、改善については、湧水元の清掃等を行い湧水の水量チェックをして解決策を見出す。

### 環境美化を問う

**問** 西海岸の草刈対策を伺う

**答** 草刈作業等の清掃業務は、北谷町地域振興センター及び北谷町シルバー人材センターに委託している。デポアイランド護岸沿いの清掃については、事業者等にも声かけしながら柔軟に対応したい。宮城海岸は、作業員を常駐しての清掃作業を北谷町地域振興センターが行っている。契約上は年間の作業回数を決めているが、必要に応じてその都度対応している。



雑草だらけのデポアイランド西海岸

**問** 側溝蓋の取替、側溝内の雑草を住民と一緒に除去してはどうか

### 学校給食を問う

**問** 給食センターの理念を伺う

**答** 学校教育の一環として学校給食の充実と改善に努め、学校給食センターと学校及び家庭との密接な連携を図りつつ、栄養、衛生、安全等に留意して学校給食法に定められた目標を達成すること。併せて財政運営の基本(原則)に基づき、健全な学校給食の運営をすること。

**問** 委託炊飯になった場合、子ども達や保護者に対する説明・周知の方法を伺う

**答** これまでの経緯を踏まえ基本設計において基本計画の検証を行ない、議会等やPTA役員の皆様に結果について報告している。また検証結果については、保護者の皆様から御要望があれば、説明会等を開くことも予定しており、それらの結果をまとめたいと考えている。

**他に次の質問がありました**  
・青少年のための科学の祭典沖縄大会INちやたんについて

**答** 道路上の側溝蓋の維持管理は、その都度対応しており出来る範囲内で今後も対応する。また、側溝内の雑草除去に関しては、自治会等と調整して対応する。

**問** 犬の糞や野良猫対策を伺う

**答** 今後も、パトロールや周知広報、飼い主等の意識啓発活動を粘り強く行いながら効果的な対策について調査研究に努める。

### パークゴルフ場の設置は

**問** パークゴルフ場の場所及び供用開始時期を伺う

**答** 今年度基本計画を策定予定。桃園公園及び砂辺の国有地を候補地として想定しているが、自治会及び関係機関と調整しながら、設置場所を決定する。供用開始時期の決定には至っていない。

**他に次の質問がありました**  
・教育行政について  
・居場所づくりについて



たかやす 高安 かつなり 克成 議員

## Q 給食センター事業、検証結果の報告周知を問う

A 議会やPTA役員に説明を行った。保護者から説明会の要請等があれば対応する



建て替えて炊飯設備の維持は

### 給食センター事業と防災を問う

問 検証結果報告後、委託の場合と炊飯設備を有する場合のどちらを望んだか。理由を問う

答 PTA役員から、コストが変わらないのであれば、調理場炊飯を希望との意見があった。

問 PTAや議会等からの要請の反映は

答 検証結果報告でのPTA

一般質問



とぐち まさし 渡久地 政志 議員

## Q 町立保育所や認可保育園での支援や取組みは

A 障がい児等の福祉の向上を図ることを目的に、特別支援保育を実施

### 子どもの発達障がい支援は

問 町立保育所や認可保育園での支援や取組み体制は

答 一般の児童と共に集団保育をするなかで社会性を培い、健やかな成長発達を促進することによって障がい児等の福祉の向上を図ることを目的に、特別支援保育を実施している。

問 幼稚園及び小学校での支援や取組みは

答 北谷町就学指導委員会での審議を行い、そこで「支援」との判定を受けた幼児に対しては、幼稚園教諭免許を有する臨時職員を配置。小学校においては、就学指導委員会での判定を基に、保護者の意見を尊重しながら合意形成のもと、児童のニーズに合った適切な学習の場を決定し支援する。

問 言語訓練ができるように言語聴覚士の配置は

答 現在考えていないが、今後、配置の必要性があるか、調査研究して行く。



育ちの支援センターいっほ

### 北谷公園野球場について

問 男女トイレを設置すべきと思うが、町の考えは

答 近年では、女子野球も普及してきたが、野球場建設当時は、競技者は男性が主であり、現在の利用者もほとんどが男性である。今後は、利用者のニーズを確認しながらトイレの改修について検討していく。

問 北谷町男女共同参画推進条例が整備されたが、ベンチ裏に1カ所のトイレについて、男女共同参画基本理念から町の責務を問う

答 野球場が平成7年の供用開始ということもあり、国の施策として男女共同参画に取組んだのが平成11年。町の条例制定も平成28年4月と考えると、これからすっかり男女共同参画の理念を町民等に周知していくことを責務として今後強力に取り組んで行く。



女子トイレの設置が望まれる野球場

問 町内に無届け老人ホームは存在するか

答 現在、本町の有料老人ホームは9施設あり、既存の7施設は全て沖縄県へ届け出済みとなっている。今年度、新たに開設された2施設については、現在、県へ届け出の手続き中である。

他に次の質問がありました  
・桑江伊平地区内の公園整備を問う

や議会等からの質疑や意見をまとめ、教育委員会の方針を決定。

問 方針決定までの流れと条件、時期はいつ頃になるか

答 教育委員会の方針は部長会議及び庁議において、審議及び総合調整を図り、町の決定をし、早い時期に決定できるように考えて行く。

問 今回の検証に関する見解と経緯の責任について問う

答 今回の検証は、平成26年度に作成した基本計画の一部について、最新の資料を取り入れ実態に即した検証を行った。

問 再検証の議事録の有無と破棄された資料について問う

答 検証では、教育委員会と受託業者で構成される教育委員会内部調整会議があり、この調整会議の議事録はない、検証結果について町長部局の関係部署との協議を行い検討会議で議事録については議事録

を作成、資料の廃棄は行っていない。

問 災害時の炊き出しや食育から炊飯設備の継続が望まれるが見解は

答 食育とは、生きる上で知育、徳育、体育の基礎となるべきものでさまざまな経験と、健全な食生活を実践ができる人間を育てることで、「食育」は、単なる食生活の改善だけでなく、食を通じたコミュニケーションやマナー、自然の恩恵に対する感謝の念と理解、優れた食文化の継承である。

問 消防の受水槽や発電機の設備を活用した給食センターの災害時の対応は

答 北谷消防署の機能維持として設置される、地下に設置される防火水槽は消火用水であり飲料には適さない。

発電機については、消防署の機能維持と災害対策業務への対応のため、外部への電源の提供は考えておりません。消防署施設機能の一部流用は、施設機能からも食品衛生上からも困難である。

### 奨学金について問う

問 給付・貸与条件は、以前厳しい状況があるが、緩和の検討を問う

答 北谷町育英会は、優秀な学生生徒で、経済的な理由により、学資の援助を必要とする者に対して学資の一部を貸与及び給付する。

問 想定される件数や額ほどの程度か。また、導入の検討は可能かを問う

答 貸与者の卒業後の勤務状況等により、相談が対応できる制度基準となっている。また、従来の貸与奨学金に加え、平成30年度から給付型奨学金制度の導入がされる。



奨学金

他に次の質問がありました  
・居場所・学校について  
・白比川周辺の環境について  
・行政懇談会における課題



なかむら しげいち 議員  
中村 重一

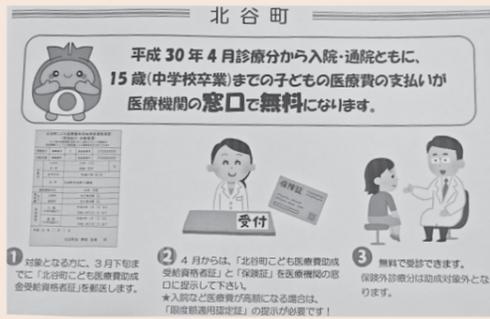
## Q 高校卒業までの医療費の無料化と現物給付を問う

**A** 高校卒業までの助成拡充の予定はないが、中学卒業まですべての現物給付化は実施

**問** 中学卒業までの年間医療費、入院・通院の利用数は  
**答** 中学卒業までの年間医療費総額平成28年度末、5億4千328万3千257円、町からの助成額9千352万4千504円。入院3933件、

**問** 高校卒業までの拡充は  
**答** 無料対象を中学校卒業まで拡大、町単独費用で実施。平成30年度から所得区分設けず中学卒業まで全ての子どもを対象の現物給付方式（窓口無料化）導入を決定。高校卒業までの拡充予定はない。

## 医療費無料化を問う



平成30年度より窓口無料化始まる

**問** 児童館の開館延長と、土日の開館実施の考えは  
**答** 児童館の開館延長と、土日の開館実施の考えは

児童館利用状況(人)

児童館名	子ども	大人	団体	合計
上勢・桑江	18,525	3,706	149	22,380
宮城	16,113	4,073	7,078	27,264
北玉	21,021	10,142	1,373	32,536

職員体制(各館とも)

館長	1名	正規職員	1名
通常勤務非常勤職員			2名
短時間勤務非常勤職員			1名

**問** 各児童館の利用状況、職員体制、運営は  
**答** 勤務体制は館長・週3日午前9時15分から午後6時。正職員及び臨時職員・週5日午前9時15分から午後6時。嘱託職員・週5日午前11時から午後6時まで。

## 児童館の開館時間延長と土・日の開館は

**問** 児童館の開館時間延長と土・日の開館は  
**答** 児童館の開館時間延長と土・日の開館は

**問** 国民健康保険の県単位化  
**答** 国民健康保険は県が財政運営の責任主体となる、町の国保業務への影響は

## 国民健康保険の県単位化



利用ニーズが高まる児童館

**問** 全県統一保険料を県が試算、内容と本町の保険料の平均との比較は  
**答** 県提示の国保事業費納付

**問** 保険料の減額は何か  
**答** 低所得世帯の保険料の7割・5割・2割軽減は3、253世帯、非自発的失業者の軽減は69世帯、条例に基づく減免は30世帯。低所得者等の負担軽減を図るため引き続き行う。

**問** 一般会計から、国保へ法定外繰入をかなり行ってきた、今後の対応は  
**答** 県が示す国保事業費納付金や保険料率の動向を勘案し、継続の必要性がある。

## 国保の加入世帯数、被保険者数、平均所得状況は、

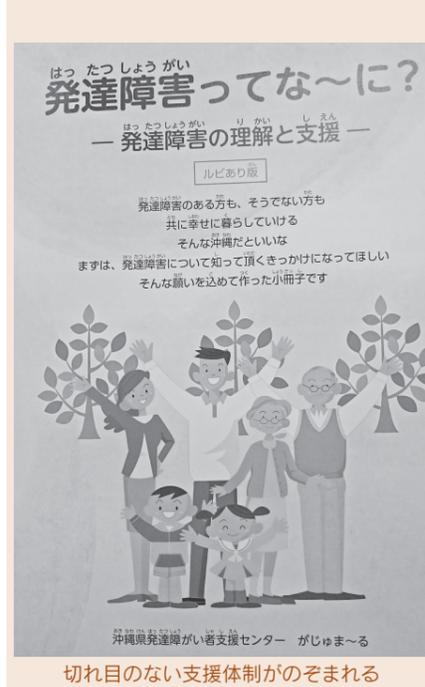
**問** 国保の加入世帯数、被保険者数、平均所得状況は、  
**答** 平成29年8月末国保加入世帯は5,265世帯、被保険者数、9,664人、1人当たり平均所得79万6千542円。



めどる ま はじめ 議員  
目取真 肇

## Q 発達障がい支援法改正を受け町の対応を問う

**A** 関係する各部署においてライフステージに応じた支援を実施



切れ目のない支援体制がのぞまれる

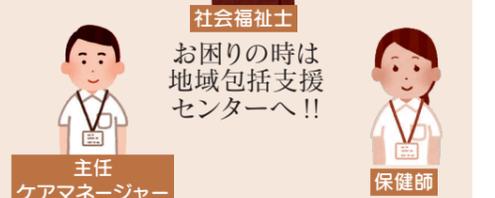
**問** 発達障がい者支援法の町民の理解と行政・学校等関係機関の連携を望むが、行政側の対応はどうか  
**答** 支援体制図を作成、乳幼児健診や学校の健康診断等での早期発見、関係する各部署でライフステージに応じた支援、保健・福祉・教育の連携を図り、切れ目のない支援体制構築に取り組んだ。

**問** 学校現場の取組みは  
**答** 就学指導委員会の判定を基に、保護者との合意形成で児童のニーズに合った適切な支援を行う。障がいの種類に応じ特別支援学級のほか、全学校に特別支援教育支援員を配置、具体的なアドバイスや、学習に対する支援等を実施。更に巡回相談員を派遣し、幼児児童生徒の行動観察を行い、支援員や教諭等へ課題解決へのアドバイス等を行う。

**問** 今後の支援体制構築は  
**答** 現在の支援体制を継続し早期発見、早期対応、保護者へ情報提供、個別の指導計画・支援計画による細かな支援に取組み、配置人材の確保に努める。

## 地域包括支援センター

高齢者の皆さんを支援する拠点です!!  
北谷町役場内に設置



権利擁護や虐待防止総合相談の受付  
社会福祉士  
お困りの時は地域包括センターへ!!  
主任 ケアマネージャー  
包括的・継続的マネジメント  
保健師  
介護予防のための支援

**問** 包括的支援事業（地域包括支援センター）の設置と業務内容は  
**答** 本町では、福祉課内に設置し①高齢者の総合相談・権利擁護や虐待防止②介護予防のための支援③包括的・継続的マネジメントによる各関係機関とのネットワークの構築等を行い、「在宅医療・介護連

**問** 全国的に介護士不足の状況があるとのこと。町も把握する必要があると思うが見解は  
**答** 町内の入所施設等から「介護職員紹介の相談が時折あり、募集をしても応募が少なく、配置基準は満たしているが、希望の職員数の確保が難しい事業所もあると、把握している。

**問** 他に次の質問がありました  
子どもの貧困対策について  
北玉小学校の通学路安全対策について



## ICTを活用した教育環境整備と電子黒板の導入計画は

電子黒板については、次年度配置を検討中

なかしやすお 仲地 泰夫 議員



ICTを使った授業風景

ICTを活用した教育環境整備を問う

環境や機器を活用した育  
成が重要視されているが認識  
は  
ICT環境の整備と適  
切・効果的活用が求められて  
いると認識。

学校給食センター基  
本計画検証を問う

検証結果についての見解  
は、結果を踏まえ、炊飯設備  
の有無の判断はいつ頃か  
議会及び町PTA連合会  
役員に説明後の意見をまとめ  
た上で教育委員会の方針を決  
定。その後、部長会議及び庁

電子黒板の活  
用状況、効果と使  
い方の研修会は  
日常的にICT  
T機器が活用され  
ている。ICT支  
援員を配置し、各  
学校で研修を実施  
している。

ICTを活用  
した教育環境整備  
と電子黒板の導入  
計画は  
電子黒板につ  
いては、次年度配  
置を検討中。

## グループホームの設置の考えは

事業所誘致の為、何が出来るか検討

なかえまこ 仲栄真 恵美子 議員



給食センター建て替  
え事業を問う

再検証の結果を受け、財  
政担当課は炊飯設備設置をど  
う考えるか。町PTA連合は、  
結果を受け炊飯設備を有した  
方が良くと要望したが、町長  
の考えは  
結果を踏まえ教育委員会  
内部で方針決定されると考え  
るのでその後協議。

教育行政を問う

町立小学校のオープン教  
室について①現場の教職員・  
児童・保護者からの評価はど  
うか。アンケートの実施は②  
後付けでクローズに出来る設  
備計画は  
①オープン教室に関する  
アンケートは4小学校の教職  
員に7月に実施。フルオープ  
ン教室は肯定的な意見がある  
一方で視覚や音環境が課題と  
の意見がある。第2小学校の  
セミオープン教室は概ね好評。  
②今後の施設活用や施設整備  
の調査研究が必要。

教育委員会について①新制  
度と教育委員の役目は②現教  
育委員の体制は③教育委員が  
給食センターや教室の形態に  
ついて意見を述べる場所があ  
るか。また、教育委員の見解  
は

①新制度は、教育委員長  
と教育長を一本化。首長と教  
育委員会が協議を行う総合教  
育会議の設置。首長による大  
綱の策定。役目は教育行政の  
運営。  
②教育委員長及び教育委員4  
人③重要施策については適宜  
進捗状況等を教育委員会に報  
告し協議・調整しながら進め  
ている。

町立幼稚園につ  
いて①4園のクラ  
ス数と職員体制は  
②非正規職員が多  
く弊害があると聞  
くが他自治体の状  
況把握は③新採用  
の臨時職員を育て  
ても任用期間が終  
わると去つていく  
虚しさを繰り返し  
ているとの現場の  
声は届いているか



幼稚園の職員体制は適正か

①4幼稚園で4・5歳児  
保育を合わせ10クラス。園長  
は小学校校長が兼務し、副園  
長は各1人、全10クラスの担  
任に本務教諭を配置。育児休  
暇の代替教諭の臨時職員3人  
午後の保育事業は各幼稚園に  
計6クラス嘱託職員6人配置。  
補助教諭4人と特別支援を要  
する加配教諭4人を臨時職員  
として配置。預かり保育のへ  
ルパー6人、特別支援教育支  
援員9人を短時間労働として  
雇用。②近隣市町村では2年  
から5年ほど同じ幼稚園で勤  
務可能。

宇地区行政懇談会  
について問う

諮りに諮り町の決定とする。  
補助メニューと財源計画  
は  
北谷町特定防衛施設周辺  
整備調整交付金事業基金を  
財源とし、平成31年度までに  
13億9,280万円積み立てる。  
平成28年度末現在、9億9,  
865万円。

白比川線から国道58号線  
入口付近へのカーブミラー設  
置について国との話し合いの  
結果は  
沖縄警察署交通対策課は  
当該地への設置は適しないと  
回答。

白比川線から国道58号線  
付近に20年近く放置車両があ  
るが県への要請と取組みは  
放置場所は県有地である  
ので説明・対応を要請した。

ホースガールの環境整備・  
保全、調査・対策について伺  
う  
平成23年に整備済み。年



放置車両の対応は

2回の水質調査を実施して  
おり、今後は水源の清掃を行  
い改善策を見出す。  
宇地区の空き家対策の  
進捗状況と取組みについて伺  
う  
町内には9件の空き家を  
確認。対策を行うため平成  
30年度に空き家調査を実施し、  
結果を踏まえ条例制定を予定。

他に次の質問がありました  
・特定検診受診率の向上に  
ついて  
・マイナポータルについて

福祉行政を問う



空き部屋が多い公務員宿舎

グループホームの設置の  
考えは  
事業所誘致の何が出来  
るか検討。

ポリテクセンター職員の  
空き宿舎を活用は出来ないか  
目的外活用は困難。

国道道路路付近に福祉関連  
の施設誘致に活用予定用地が  
あると聞くが計画と進捗は  
具体的計画は未定だが、  
効果的土地利用を引き続き検  
討。

他に次の質問がありました  
・北谷町の産業について



たまな は ひでこ  
玉那覇 淑子 議員

## Q 本町の介護施設、認知症対応型施設数は

A 認知症対応型共同生活介護いわゆるグループホームは4施設、認知症に特化した通所介護は2カ所

問 本町の高齢者の中で、認知症と診断された人数と割合は

答 平成29年3月末時点の本町の高齢者数は5,394人、高齢化率は18.5%。平成29年3月末時点で認知症高齢者の日常生活自立度のランクII以上の者が694人、高齢者全体の12.9%。



子ども達と交流する高齢者

生き生きと住み続けられるまちを問う

一般質問



ともり つとむ  
友利 勉 議員

## Q 昨年の9月議会でバス停の名称変更について関係機関と調整すると回答進捗状況は

A 名称変更の可否を確認し、協議が整えば、新たなバス停名称の検討作業へ進める



バス停名の変更は

問 各種システム等の変更に伴う経費等は、概算で100万円程度。費用負担額は、関係バス会社へ直接見積り依頼している状況。

問 名称変更を決定し、手続きから完了までの期間は

答 各バス会社の計画等もあり、現段階には把握していない。今後の協議で詳細は決定。

国道58号線バス停名称の変更を問う

一般質問

## 防災対策の取り組みは



土砂災害の危険場所の視察

問 これまで本町において土砂災害が発生した件数、その時の雨量等、原因と場所は

答 平成27年、平成28年には、土砂崩れの発生は報告はない。平成29年は現時点で1件の土砂崩れが発生。宇地原区において、梅雨時期の降り続いた雨の影響で住宅裏の土砂崩れ宅地等に対する被害はない。

問 町内、消防団員の定数と現在の行政区ごとの消防団員数は

答 本町の消防団員の定数は25人で、現在24人が任命、欠員については新たな団員を選考中。団員24人のうち町内在住者は13人で、上勢区1人、栄口区1人、謝苜区2人、宇地原区1人、北前区2人、砂辺区1人、美浜区3人で、その他11人は在勤者等。

問 県内で講習会開催ならびに受験できる仕組みづくりが必要だと思いが考えは。防災士資格取得のための費用の助成は

答 本年4月に日本防災士会沖縄県支部が結成された。今後、同支部の活動の一環として防災士育成のための講習会等が実施されるものと期待している。防災士資格取得の助成については、町内の自主防災組織で積極的に活動するなどリーダー的な役割を担っていることと、自主防災組織の推薦を条件に受講料等の補助を検討している。

育てに関する経済的支援」と回答。子どもの貧困対策と併せてその取り組みを問う

答 「子育てに関する経済的支援」は、こども医療費助成事業、認可外保育施設保護者負担軽減事業、ひとり親家庭等認可外保育施設利用補助事業、ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業、ファミリーサポートセンター利用支援事業、学童保育料の減額措置、保育所延長保育料の免除措置を実施している。

問 高齢者や認知症症状のある人、その家族のサポートの取り組みは

答 認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人とその家族を支援する相談支援やその体制を構築するための取り組みを推進。

学校における電子黒板等ICT環境の整備充実は

問 本町の電子黒板の活用及び効果性についての検証結果を問う

答 ICT機器を使った授業を行った小学校93%、中学校60%、小学校ではほとんどの教師が活用。中学校では電子黒板や大型テレビ配置教室で、

問 今後の結婚、出産、子育てに関する施策は、約7割が「子育てと仕事を両立職場環境の整備支援」「妊娠・出産・子育てに医療体制の整備」「子

育てに関する経済的支援」と回答。子どもの貧困対策と併せてその取り組みを問う

答 「子育てに関する経済的支援」は、こども医療費助成事業、認可外保育施設保護者負担軽減事業、ひとり親家庭等認可外保育施設利用補助事業、ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業、ファミリーサポートセンター利用支援事業、学童保育料の減額措置、保育所延長保育料の免除措置を実施している。



電子黒板を利用し海外の子ども達と交流中

活用している。「行った」と回答の中、「ほぼ毎日」と答えた小学校53%、中学校56%、「週に数回」を含めると、小学校で88%、中学校で70%となりデジタル教科書やデジタル教材の活用で、分かりやすい授業となり、学習意欲の向上につながる。従来方法に比べ効率化し、次期学習指導要領が求める、自分の考えを広げる「主体的・対話的で深い学び」につながる。

## コミュニティバス(Cバス)の実証実験は

問 平日ならびに土曜日、日曜日(祝祭日)の乗車状況等集計結果を問う

答 平成29年7月は31日間の運行日数で、延べ利用者数は1,400人(日平均45.16人)となっており、そのうち、平日20日間利用者は983人(日平均49.15人)、土・日・祝日11日間で417人(日平均37.91人)。



コミュニティバスの活用状況は

他に次の質問がありました  
・学力テスト結果について



# 「北谷町立学校新給食センターの施設整備において炊飯設備の継続導入を求める」決議 可決!

賛成10人

反対8人

(P10参照)

炊飯設備を有する事により、行政が直接管理する安心・安全に加え、炊き立てでおいしい給食を提供する事ができ、和食文化の継承や四季を感じる米飯の献立を基本とした食育の更なる推進をし、本町での大災害時にも大いに役立つ可能性もあり、是非とも炊飯設備の継続導入を求める。

その後、全議員、町PTA連合会役員への説明が行われ、保護者の立場からは、より安心・安全でおいしい給食を継続して提供できる事を望む意見があった。

これまで、炊飯設備の有無に関する積算方法に対して疑義があり議論を重ねてきた。平成29年1月20日に「炊飯設備の有無は両面ありきで再検証」という判断が教育委員会により下され、文教厚生常任委員会に再検証の報告があったが、その結果、炊飯設備有りとし炊飯設備無し(外注)との総事業費の差は、45年事業でわずかに年間23万円に留まった。

## 趣旨

## 主な質問

- Q** 中間報告を受け、常任委員会としては一方、方向性を出す協議は行われていないとあった。やはり何らかの形で結論を出すべき。委員会の中で議論はあったか
- A** 一点の方向性を出す為に協議を行ってきたが、結論を出すには至らなかった。
- Q** 委託先は本当に、子ども達の給食を任せられる適切な場所か
- A** 委託先は、現在町外の数か所にお米を提供しているが、築年数が38年と老朽化している。
- Q** 各行政区で説明会をしてきたとの事。どれくらいの方々が参加したのか
- A** 約100人程度と理解している。
- Q** 検証結果がわずかに年間23万の差。23万まで縮めた要因は
- A** 人件費、設備費、設備更新費等に疑義があり再検証になった。
- Q** 再検証で、年間23万円に差が留まった。その一番の問題は人員の配置。臨時で対応しても良いとの考えか
- A** 現在はパートが役割を担っている。



今回、第十代議会始まって以来の、一日40人の傍聴者が来場しました!!  
※(これまでの会期中の平均人数27人。一日平均1.5人)

【40人のうちわけ】

男	女	町内	町外
21人	19人	34人	6人

北谷町の未来が  
議場で決まる!!  
さあ行こう!!  
議会傍聴へ!!

## Q 庁舎内へのベビーカートの設置を要望するが如何か

**A** 乳幼児を抱え役場に来庁される方に使用していただけるよう、設置したいと考えている

みやざと あゆみ 議員



役場入口にベビーカートの設置を

## 子育て支援を問う

**問** 庁舎内入り口付近には、車椅子が設置。子ども連れの方も安心して利用できるベビーカートの設置は

**答** 北谷町役場庁舎に設置された車椅子同様、ベビーカートも設置したいと考えている。

**問** 公立保育園での母乳育児を受け入れるには人員体制や冷蔵庫の確保などが課題、事業の中でも母乳育児を推進しており、前向きに実現できないか



町民農園の現状は

## 町民農園について

**問** 町民農園の現在の待ち人数と、申し込みの際の提出書類の簡素化はできないか

**答** 現在の待ち人数は21人。申し込みの際の提出書類簡素化は、前向きに検討したい。

**問** 栄養面や免疫の面から母乳による育児は、町としても推進。母乳育児者が保育所に児童を入所させる場合の対応についても、引き続き調査研究していく。

## 道路行政を問う

**問** 開園して約1年半経過。利用区画が放置され雑草が生えている状況が何カ所かある。年に一度利用更新確認の見直しできないか

**答** 放置され雑草が生えている区画は、その都度、町から所有者に今後の農園利用について確認を行っている。

**問** 行政懇談会で質問のあった旧琉球銀行横、八百屋前のガードレール設置の進捗状況を伺う

**答** 行政懇談会後に、当事者に違法駐車をしないよう注意を促し、ガードレールとは別のポストコーンを去る9月8日に設置。

**問** 桑江中央線の制限速度を関係機関と調整しているか

**答** 第二小学校周辺については、幹線道路である桑江中央線と他の道路の速度表示が逆転している状況であるが、学校の道路と、桑江中央線の下限設定を上げることの危険性も含め、沖縄警察署と調整を図りながら対応したい。

## 学校給食・食育について

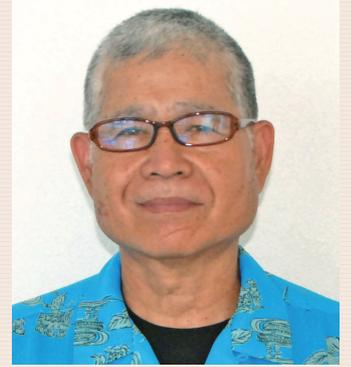


給食配膳の様子

**問** 町の給食時間の実態、また、完食できない子への指導、給食における特別教育支援員の関わりを問う

**答** 給食時間には特別支援教育支援員の関わりは、小学校3校で支援され、食べ方や牛乳の開け方指導、本人の意思を確認し量の調整、偏食がある児童に対しては、マナー良く食べるよう指導、時間内に食べられるように声かけをし、安全面の確認や食後の薬の服用補助等の支援を行っている。

読者からの  
**声**



北玉区  
安座間 好徳

## 議会を傍聴して

私は、九月二十八日、北谷町定例議会を傍聴した。数々の決議、意見書、要請等が可決、採択された。その中でも、特に、注目したのが「給食センターの施設設備において炊飯設備の継続導入を求める決議」である。反対討論六人。賛成六人のそれぞれの意見を聞いてなるほど、もつともな、或いは、ん〜……こんな考えもあるのか。町民が納得するような内容だろうか？ この決議は傍聴席が満席になる関心のあるものだった。反対、賛成の議員からの意見を聞きながら、私は、今、現実の他県の給食の委託をした場合の子どもの安心・安全について気になる記

事を目にしていたので「あれっ」。委託にする意見については神奈川県・大磯町の中学校の学校給食の「不味い」「異物混入」騒動である。委託にしてご飯だけとはいえ、安心・安全は本当に守れるのだろうか。責任は誰がとるのだろうか。いささか疑問である。私見としては、「子どもの安心・安全」の面から見ても、絶対炊飯設備は必要だと思し、各県の実状からしても炊飯設備の継続導入は当然である。と訴えたい。北谷町議会の採決に当たっては、十対八で可決されたのは心の底からの拍手を送りたい。

## 平成29年12月定例会に傍聴へ行こう!!

平成29年12月14日(木)開催予定

本会議を行う議場では、手話通訳及び補聴装置を御利用になれます。

- 手話通訳は、傍聴予定日の7日前までに議会事務局へお申込み下さい。
- 補聴装置は、傍聴受付の際にお申出下さい。詳細は北谷町ホームページ検索サイトで!!  
HPアドレス:<http://www.chatan.jp/chogikai/>

インターネットで町議会を知ろう!!

議会の日程についてもホームページでお知らせしております。

北谷町HP

北谷町議会

北谷町議会

検索



あなたも町議会を傍聴してみませんか?

お意見・ご感想又は、お問い合わせ

議会事務局



(098) 936-3382



(098) 936-9712

### 編集後記

まだまだ暑さが続く今日この頃ですがいかがお過ごしでしょうか。「議会だより」は年4回発行しています。

3月、6月、9月、12月の定例会及び臨時議会における議会活動について広く町民にお知らせする議会報告であります。議会広報委員会では、町民がいかによみやすく親しまれるかについて、研修会で学び議会だより79号が沖繩県町村議会議長会より表彰されました。

9月議会においては、今回13人の議員が一般質問を行っています。28日の9月定例会最終本会議で新給食センターの炊飯設備の継続導入を求める決議を採決の結果、発議42号は賛成10、反対8で可決されました。傍聴席は、席に座れないほど多くの町民が傍聴に来てこれまでにない熱気あふれる大きな拍手をいただきました。今後とも、町民目線に立つて議会の活動を伝えることを目指し紙面づくり、なお、より良い住民満足度の高い行政サービスが提供されるよう、緊張感をもって対応していきます。

町民・行政・議会・との情報交流の源流となるよう、広報員一同、より一層精進してまいります。

(議会広報委員) 宮里 廣